

時間割コード	G1D12301	開講年度	2026				
授業題目	中国語初級（文法） I				担当教員	伊藤 加奈子	
英文授業名	Chinese: Elementary Level (Grammar) I						
単位数	1	講義期間	前期	曜日・時限	水曜・1時限	対象学生	L I／全
講義室	共通教育 6 4 講義室		授業形態	実習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	大学D P						
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力				⇔	現代中国語共通語の発音と基本的な語彙・文法を把握し、中国語を使った初級レベルの表現ができるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム	ローカル・イノベーター養成コース						
(4)授業の概要	教科書に沿って初回の数回は、中国語（普通話）の発音表記であるピンインルールの理解と発音の実践、その後は文法項目について説明し、練習問題でそれを確認するという形で授業を進めます。						
(5)授業のキーワード	中国語、初級、発音、文法						
(6)授業計画	第1回 ガイダンス 中国語共通語の発音 共通語（普通話）とは 簡体字とは ピンインとは 声調について 第2回 中国語共通語の発音 単母音 子音 複母音 第3回 中国語共通語の発音 鼻母音 音節の成り立ち 第4回 中国語共通語の発音 “一”の声調変化 “不”の声調変化 三声連続による声調変化 第5回 中国語共通語の発音 軽声 儿(er)化 隔音符号 ピンイン表記における諸ルール 第6回 数字に関する様々な表現 国名地名 挨拶言葉 第7回 教室用語 漢詩を読んでみよう 第8回 人称代詞 動詞“是” 第9回 諾否疑問文 疑問詞疑問文 第10回 指示代詞 形容詞述語文 反復疑問文 第11回 動詞“在”と前置詞“在” 連動文 第12回 時間の尋ね方 様々な前置詞 第13回 量詞 方位詞 動詞“有” 第14回 連体修飾語 数を尋ねる疑問詞 第15回 前期のまとめ、授業アンケート 第16回 前期試験 以上は目安であり、進度によって調整します。						
(7)成績評価の方法	授業の参加態度（指名しての例文発音・毎回提出する小課題により確認できる達成度）5割と、期末試験5割によって評価します。						
(8)成績評価の基準	・卓越している＝初級教科書にある語彙は全てピンインに頼らず的確に発音することができる、比較的構造の複雑な中国語の文を組み立てることができる、 ・かなり上にある＝一部の語彙はピンインに頼らず的確に発音することができる、比較的複雑な中国語の文を組み立てることができる ・やや上にある＝ピンインを的確に発音することができる、確実に短い中国語の文を組み立てることができる ・その水準にある＝ピンインをおおよそ発音することができる、短い中国語の文を組み立てることができる						
(9)事前事後学習の内容	中国語の単語、それも単なる漢字表記だけでなくピンイン（もちろん声調記号を含む）を把握し、子音・母音・声調を整理した形で発音を覚えるのが大事です。単に音声教材を聞き流すだけでは不十分です。日本人学習者が特に間違えやすい作文ポイントを授業中に示しますので、その点を意識して復習するのが効果的でしょう。 ※この授業は45時間の学修を必要とする内容です。従って、15時間以上の時間外学習が必要となります。						
(10)履修上の注意	基本的に人文学部の1年生を対象とします。それ以外の学生については柔軟に対応する予定ですが、別途ご相談ください。 出版社HPから教科書音声を利用できますので、それをリスニングや発音練習に活かすなど復習も欠かさないでください。						
(11)質問、相談への対応	毎週火曜日12：10～13：00のオフィスパワーには人文学部棟での中国語サロン活動場所にいます。その他の日時でも、授業以外の研究室にいる時には対応できますので、気軽にメールで問い合わせてください。 伊藤の授業担当時限は人文学部・人文科学研究科・共通教育シラバスにて確認してください。 メールアドレス：itokana@shinshu-u.ac.jp						
(12)授業への出席	・全ての回に出席することを基本とします。 ・授業を4回以上欠席した場合、この授業の達成目標に到達することができないため、成績評価の対象外（不可）となります。						

(12)授業への出席	・感染症報告システムに登録し「出席停止」と判断され、授業に出席できなかった場合は欠席とはみなしません。 ・「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により、授業に出席できなかった場合は欠席とします。
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	・「出席停止」により授業に出席できなかった場合は、健康安全センターからのメールを担当教員に転送して、学修の補充に関する指示を受けてください（『共通教育履修案内』参照）。 ・「出席停止」ではなく「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により出席できず、補充を希望する場合は、所定の方法（『共通教育履修案内』参照）により、共通教育窓口で申請してください。（この場合は、出席扱いにはなりません。）
【教科書】	『インタラクティブで中国語』,山本範子/ケイ玉芝/森若裕子, ISBN 978-4-255-45404-7, 朝日出版社, 2,750円（税込）
【参考書】	初回授業ガイダンス時に辞書や参考書等を紹介します。